清掃特集

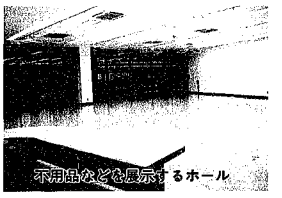
4月2日オープン

ごみの減量・リサイクルの拠点
エコープラザが完成

あす一日から西新潟地区で、来年四月から東新潟地区を含め全市で実施される六分別収集。新しく加わる資源物回収のうち「びん・缶」を選別、資源化するエコープラザ（資源再生センター）が四月二日にオープンします。同センターでは選別施設とともに、不用品の提供やリサイクル教室の開催、研修室の貸し出しなど、リサイクルの啓発施設も備えています。

■不用家具類を提供

「子どもが大きくなって使わなくなったベビーだんす」「家族が増えたので冷蔵庫を買い替えた」――など、まだ使えるけど家庭で不用となった家具類や電化製品などを一階のホールで常時展示し、希望者に提供。回収は、大型の物は電話で申し込んでもらい、取りに伺います。小型の物は直接持ち込んでください。


不用品などを展示するホール

不用品は二十日間程度展示した後、抽選により無償で提供します。なお、当選した人には「緑と花の基金」への寄付をお願いしています（一点五百円以上）。

家具類や電化製品以外の物や、有償で交換したい物は、譲りたい人、譲って欲しい人を登録してもらい情報交換の仲立ちも行います。

■リサイクル講座を開催

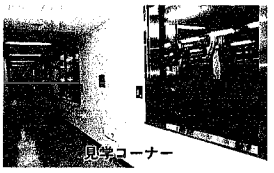
同施設の二階には、ごみの減量・リサイクルの自主的な活動に利用できる研修室、実習室、講座室を備えています。

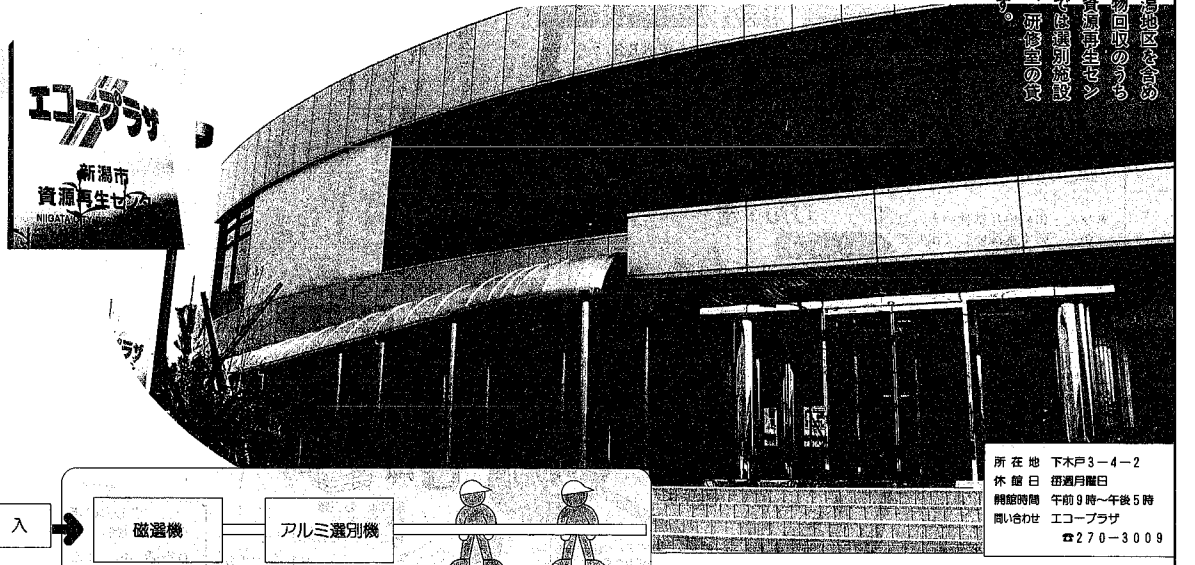
市でも、牛乳パックの紙すきや廃油からの石けん作り、アルミ鋳造教室などの講座を開催します。

■選別工場の見学コーナー

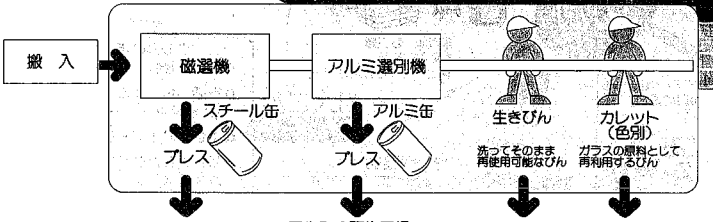
ごみの減量とリサイクルに関心を持ってもらおうと、びん・缶の選別工程の見学コーナーを設けています。

開館時間内であればいつでも自由に見学できます。案内が必要な場合は、事前にご連絡ください。

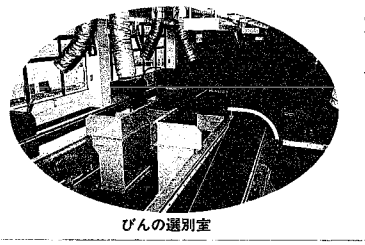

見学コーナー



所在地　下木戸3－4－2
休館日　毎週月曜日
開館時間　午前9時～午後5時
問い合わせ　エコープラザ
☎270－3009



プレスされた缶類


びんの選別室

■びん・缶が資源に

家庭からごみステーションに出された「びん・缶」は、同施設の選別工場で種類別に選別され、再資源化されます。

運び込まれた「びん・缶」は、ベルトコンベアーでそれぞれの選別装置に運ばれます。まず、スチール缶を磁石を使った装置で選別、次にアルミ缶を選別していきます。その後、そのまま使える生びんが取り除かれ、残ったびんが色別に分けられます。

びんの選別については手作業で行いますので、割れたびんが混ざっていると危険です。ルールを守って正しく出してください。

一日60トンを処理

同施設での「びん・缶」の処理能力は一日六十㌧。選別された資源は、各業者に引き取られ再生されるほか、さまざまな物に加工されます。スチールは建築資材など、アルミはアルミ缶や自動車のアルミホイールなどに加工再生される予定です。

ごみ減量化・資源化協力店

市では、商品の簡易包装や店頭回収など、ごみの減量化・リサイクルに取り組んでいる販売店や商店街を協力店として認定し、市民の皆さんに協力を呼び掛けています。

広がるリサイクル運動

集団資源回収

自治会・町内会や子ども会、老人クラブ、PTAなどの地域の団体が古紙や空きびん・缶などの資源物を回収する集団資源回収は、大きな効果を上げています。市では、回収量1kgにつき4円の奨励金を差し上げています。